

事業の背景・目的

生息環境の変化や外来種等の影響により、生息地、生息数が大きく減少している千葉県内のミヤコタナゴを保全するための事業を実施する。

令和5年度は、2年間の事業を踏まえ、モニタリング等を継続して実施する。さらに3年分のモニタリング調査の結果をもとに、状況が芳しくない生息地において生息環境の改善を行う。



事業の内容

事業ア 試験放流準備事業

千葉県ミヤコタナゴ協議会で検討し、これまでの現地調査の結果等をもとに再導入・補強の指針を定めた再導入・補強計画の素案を作成した。

事業イ モニタリング事業

県内生息地及び、過去に生息が確認されていた地点を含む探索地点において、本種を含む水生生物の生息状況の調査を実施した。

事業ウ 生息環境整備事業

ミヤコタナゴの生息環境が芳しくない地点を2か所選定し、外来魚の駆除、アライグマの捕獲、生息環境の整備を実施した。

得られた成果

事業の成果

- ア. 千葉県ミヤコタナゴ協議会で検討し、放流の指針を定めた放流計画の素案を作成した。
- イ. 県内の生息地及び探索地点について、令和4年度に引き続き、ミヤコタナゴの生息状況等を把握した。
- ウ. 生息地点の2か所において、本種と競合する外来魚類及び産卵母貝を食害するアライグマを一定数駆除した。

今後の展望

- ア. イ. 令和6年度以降もモニタリングを継続して実施するとともに、今年度作成した放流計画の素案を踏まえ、千葉県ミヤコタナゴ保全協議会で協議をしながら、放流の実施に向けた検討を行う。
- ウ. 外来種の駆除は今後も継続的に実施し、本種の生息地内での個体数の自然増加を図る。